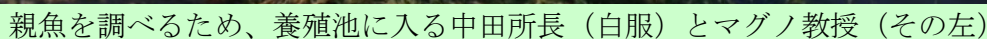


世界平和地球村の建設と自然環境の保護



二〇一一年末から、二〇二二年一月に孵化した五千匹は、二千、二千、千と、三つの池に分けて育てているが、二千匹は多すぎるので、成長を促進するために、千匹ずつに分けられるよう、現在25m×100mの池が一つ新たに作られ、更に50m×100mの大きな池を造成中である。

今、レダ基地では...

連日酷暑のレダ基地。黙々と地道な作業が続いています。



固い土を切る青いトラクターと、土を削り取る赤いトラクター

新しい養殖池の造成工事

今季孵化した大量の稚魚を、大きく健康に育てるため、新たに100m×25mの池を掘りました。場所は、第四、第五の池の南側です。さらに、二倍の面積を持つ池も造成中です。

新調したスクレーパー（土を削る機械）は快調です。一方、働きの古参トラクターには、過度の無理をさせないよう、大変気を使いながらの工事です。

昨年、レダはパラグアイで三番目の稚魚放流を実施しました。チャコ地方で、しかも民間では初めての放流です。魚は確実に減少しており、市場の需要も高まっています。加えて、レダ産のパークーは、色は綺麗で味は美味しいとの評判ですから、自信を持って進めています。

果樹園と植樹園のモデル化を目指して

レダ基地に戻った伊達氏は、さっそく植樹用のミニポット苗作りを開始しました。中田所長から第一農場の育苗所を使う許可を得て、アルガロボの種230粒の他、アセロラ、ニームなどをミニポットに播種したところです。今回のポット苗作りは、各種条件下での成長特性を調査するためのものです。

果樹園の点検も終わりました。過酷な条件の下で、成長が鈍化したり、中には枯死する果樹も見られます。これから栽培地に最も適応力のある個体を樹種ごとに選ぼうとしています。

樹木の立ち枯れ問題は、砂漠化防止事業においてよく知られるように、大変深刻なものです。長年レダで植樹園の管理をしてきた飯野会長によると、ここチャコ地域では、塩土に当たって枯れる樹木も多く、植栽の場所によって成長の差が大きいようです。



育苗所で、ポット苗を作る伊達氏（左）と新しい助手

（塩分との戦いは世界中の植林の課題でもあります。レダではそれを克服して、植樹モデル地域を実現することを期待しています。）

厳格な、口蹄疫の予防接種



コラールで牛に予防接種をする佐野氏（右）

パラグアイ共和国は、家畜の口蹄疫ゼロを維持するために、厳格な防疫体制を敷いています。一月二十四日、口蹄疫の予防接種がありました。これは通常、年二回ぐらいあります。この時は

私たちににとっては審判のような時で、政府の検査官の立会いの下、正式に品種ごとの頭数を数えられ、政府のコンピューターに登録されます。この数字は絶対で、何か不明瞭な点が発見されるとアスンシオンから調査官が来ることになっているからです。牛のカウントは、一〇〇%正確にすることはほぼ不可能です。小さい子牛は折り重なったりして、カウント間違いなど多少の誤差が出て当然です。でも今回、十二月の数字と完全に整合したのにはびっくりしました。

豚ランドでは



豚たちはすこぶる元気に育っています。飼育担当の坂井君（上の写真）は「豚が意外とユーモアを感じる動物で、親しみを覚える。ブランド豚をつくりたい。」と抱負を語ってくれました。

二月十日、二名のシニアボランティアが レダ基地へと元氣よく出発しました。

九日、千葉では観測史上最大の降雪で交通機関が大幅に乱れました。初のシニアボランティア、水落勝氏と堀本努氏は、同行の中井重幸氏と共に丸一日を成田空港で過ごし、想定外の様々なハードルも越えて、翌十日に笑顔で出発して行きました。

★レダでは何を担当しますか？

(二人共、基本的には何でもやる覚悟です。)

水落 自分は大工仕事を三十年以上やってきましたので、建物を作ったり、修理することとができます。自分の大工道具一式を持って行きます。

堀本 多分、豚の世話をする事になると思います。アメリカにいた時、日本レストランで働いており、多少は調理ができますので、包丁など自分の道具を持って行きます。溶接の仕事も経験があります。

★レダに行きたいと思ったのは？

水落 十年以上も前に、レダプロジェクトを知って、行きたいと思いましたが、その時はある事情で行けませんでした。今回色々な方から説明を受け、いよいよ自分も海外で力を発揮したいと思いました。今までは妻が海外に行って仕事をするのを応援してきましたが、今回は自分自身が行くことになりました。



左より、堀本氏、中井氏、水落氏 (2月10日成田空港にて、大滝氏撮影)

堀本 柴沼先生の説明会に参加しました。その時は、こういうプロジェクトもあるんだ、と感動していましたが、自分のこととしては捉えていませんでした。正月に水落家を訪問した時、彼がレダに行くことを知りました。そして自分も彼となら行きたいと思いました。

★残された家族の生活は大丈夫ですか？

水落 数ヶ月前、信号で止まっていた自分の車に、後ろから激しく追突され車は大破、病院に十九日間入院していました。医者に、あれだけの事故に遭っても、あなたはどこも悪くないから早く退院なさいと言われて、元気に戻りました。生かされた命ですから、せめて世の為に生きたいと思いました。そうしたら、お陰で少し保険金が降りました。奉仕に出かけても、何とか妻も娘も食いつないでいけそうです。

堀本 自分は福島原発の傍に住んでいて、大震災に遭いましたが、家族は皆守られました。それだけでなく、難民として千葉に出てきて、政府からの保証が数年出るお陰で、少しでも恩返しに奉仕活動に取り組みたいと思います。

★夢について語ってください

堀本 若い時から、世界の果てに行ってみたいという夢がありました。そして不思議な縁でアメリカでしばらく働いていました。今回こそ、本当に地球の果てに行けると思うと楽しみです。



♣ Mother.....母と子と.....Baby♣

レダ基地では、牛、馬、豚、羊、犬などの家畜や、鳥、獣、昆虫他、野生生物のペアリング・出産・育児の様をつぶさに見ることができます。愛と生命、その継承の営みを、生きた教材から五感で学べる学校とも言えましょう。

水落 二年ほど漁師をした経験があります。魚釣りは大好きですし、魚を扱うことにも慣れています。船も操縦できます。趣味は釣りです。レダではいろいろな魚を釣ってみたいです。



レダの活動報告、講話、青年の合唱、独唱、ブラジルの家族による南米の歌、そして手品など、楽しく、有意義な親睦の時間を持ちました。

南北米福地開発協会 新年会
会員との楽しい交流の場

二〇一四年一月十九日(日)
大山街道ふるさと館

南北米福地開発協会事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15

岩崎ビル4F

電話 044-829-2821

FAX 044-829-2820

会費納入 郵便口座

10180-77680471

Eメール : office@asd-nsa.jp

ホームページ : http://www.asd-nsa.jp

地球家族として、自然を守りましょう

南北米福地開発協会会員募集中

南米、パラグアイ・パンタナール地域へのエコツアー、ならびに植林活動を通じて生態系の維持と強化を促進し、その地域をモデルとし、世界に環境保護の大切さを訴えています。会費は月500円です。

毎月、パンタナール通信をお送りいたします。また、各種のセミナー、エコツアー等へのご案内をいたします。